

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2390600050		
法人名	有限会社 菜花		
事業所名	グループホーム 正木の家		
所在地	名古屋市中区正木二丁目14番地18号		
自己評価作成日	平成28年1月7日	評価結果市町村受理日	平成28年4月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉総合研究所 株式会社
所在地	名古屋市東区百人町26番地 スクエア百人町1階
訪問調査日	平成28年1月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念にもあるように、出来る限り入居者様のペースでのんびりゆっくり生活できるよう支援している。行事ごとのイベントにも力を入れており、春には東別院へお花見に、夏はご家族、近隣の方を招待しての夏祭り、秋には「なばなの里」へコスモスを見に出掛け、冬はクリスマス会と入居者様全員が楽しめるイベントを企画している。

地域との交流も徐々に増え、近所の神社へ行くと近隣の方や神主さんが声をかけて下さったりと、少しずつ地域との関わりが深くなってきている。

また、入居者様と他事業所のお祭りに出掛けたり、研修会に参加したりと、他事業所との交流も増えつつある。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

4年が経過し、事業所内1階パブリックスペースを地域との関わりに上手く利用している。ボランティアや職員による介護予防ヨガ、法話、太極拳の定期的開催は地域住民と利用者の交流の場であり、多くの楽しみに繋がっている。また、子どもと触れ合う機会になる親子サロンを更に月1回、職員のこども預かり子育てサロンへと拡大するよう準備もされている。利用者のペースでのんびりゆっくり、笑顔で暮らせるホームを目指しており、以前実習に参加した専門学生や大学生がアルバイトに来ている。日曜日の午後はおやつタイムや少し足を延ばした外出をしている。散歩の途中で喫茶店でのモーニングを楽しんだりして、家庭にいた時のように過ごせるよう支援している。職員は支援内容や方法について知恵を出し合い、事故予防やヒヤリハットの減少に努めている。家族が参加する行事では明るく賑やかな「大家族の正木さんち」が実現しており、認知症の人が地域で暮らしていけるよう地域の拠点として事業所の更なる発展が期待される。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所、1階パブリックホールに提示し、職員全員が確認できるようにしている。	基本理念は「まさきのいえ」を頭文字にわかり易い言葉で表現され、職員は出勤時に確認できる。日々の生活を利用者のペースで「のんびりゆっくり」過ごせることを心がけ、一呼吸おいて「まっころ」を大切に支援している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に参加し、地域清掃や行事等、積極的に参加している。 イベント時には、地域のお店を利用したり、夏祭りでは、住民の方にも声をかけ、招待している。	ホーム周辺の公園や神社、喫茶店を通る散歩コースやコンビニでの買い物、クリーンキャンペーン、地域の避難訓練への参加等で地域の人と触れ合っている。回覧板での情報で利用者と地区の盆踊り、闇の森八幡社や福祉施設夏祭りに出かけ、夏を満喫している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症専門部会のメンバーに入り、情報提供したり、認知症の人への地域での取り組みを理解している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ヒヤリハット報告や取組内容を報告し、アドバイスを頂いている。 その都度、議事録を作成し、職員への周知を徹底している。	2か月毎に開催し、事業所の現状報告やイベント内容、今後の予定とともにヒヤリハット・事故報告も行っている。一方的な報告に留まらずAED研修では、耐震状況についても説明し、参加者間で意見交換をしたり、得た地域情報をサービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	認知症専門部会、介護保険事業者連絡会のメンバーとして、勉強会等に参加し、いきいき支援センターや他事業所との連携を努めるようにしている。	市の担当者とは困りごとを電話で相談したり、助言や解決に向けた協力を得る関係が構築されている。日常的にはいきいき支援センターと連携している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者様が落ち着かれない際、出来る限り外出するよう努めているが、玄関の施錠をせざる負えない時もある。	事業所1階入口事務所がほとんど不在のため、安全と防犯面から家族の了解を得て、玄関は施錠している。身体拘束について法人研修をうけ、職員はその内容を理解している。ヒヤリハットを分析し、居室にマットを敷いたり、時には布団をベッドから床に移動したり、または音で動きを察知できるようにと工夫を重ね支援している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	マニュアルや虐待についての新聞記事、雑誌等を職員が閲覧できるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	2名の入居者様が後見人制度を利用されており、職員も認識している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時に契約書、重要事項説明書を十分に説明し納得いくよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問時等に要望を聴くようにしている。 聴いた職員は、管理者、常勤職員へ報告し、運営に反映できるように努めている。	家族面会時には声掛けし、意見や要望を話しやすい雰囲気作りに努めている。内容は申し送りや連絡ノートに記入して情報を共有し、ミーティングで話し合いや検討を重ね、支援に反映している。毎月利用者毎の写真にコメントを付けて家族に送付している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度のミーティング、カンファレンスを行い、職員の意見、提案を反映させている。	職員はミーティングで意見や提案を出し合い、支援の向上に努めている。夕方不穏や離脱への対応を検討する中で、日勤帯の職員勤務時間30分繰り下げの提案があり、職員体制の強化で気持ちが穏やかな対応を心がけ、理念の実践へと繋げている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出来る限り残業のないよう、勤務時間の変更等シフトの組み方も工夫している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全職員に研修案内を提示しており、年4回、1階パブリックホールで事業所の研修を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	名詞交換会等、他事業所との交流の場に参加している。 入居者様と他事業所の祭に参加している。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族から本人の生活歴や世代背景についての情報を収集しケアに活かしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学来所や契約時にご家族の不安や要望を受け止め、対応できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の状況や本人の状態に合わせたサービス利用ができるよう支援している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々が今出来る事に目を向け、職員と共同で行うようにしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は、来所した家族とコミュニケーションをしっかりと取り、共に支えていく関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と手紙のやり取りをしたり、家族と外食をされたりと、馴染みの人や関係の継続に努めている。	年賀状や海外の孫からの手紙が届き、職員と返信ハガキを作成したり、昔の職場の生徒の訪問があるなど、関係継続を支援している。信仰深い利用者も多く、由緒ある「闇の森神社」や散歩コースの喫茶店は入所後行きつけとなり、馴染みの場となっている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者同士の関係性を理解し、利用者同士で会話ができるよう、席の配置等に気を配っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	近所の方から現在の状況を聞いたり、イベント時声を掛けたりと関係の継続に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日常生活で入居者様と関わる時間を大切にし、本人の希望や意向の把握に努めている。	利用者の殆どが日々の関わりの中で職員の問いかけに仕草、表情、言葉等で応えてもらっているため、その中から思いや意向を汲み取り職員間で共有し、話し合って支援出来るように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントやご家族の来所時に情報を収集し、全員で把握できる様努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	担当職員を決め、個々の状態を把握し、対応できる様努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1度のミーティング、カンファレンスを行い、情報の共有をし、チームケアに努めている。	利用者の担当職員が3か月毎に家族から意見を聞いてモニタリングシートに記入し、それを基にカンファレンスで話し合って集約し、半年毎に介護計画が作成される。状況に変化があれば随時見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	連絡ノートを使用し、日々の気づきや対応変更等を共有できる様努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その都度、ご家族、職員で相談し、柔軟な対応ができるよう努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアや実習生の受け入れ、地域サロンへの参加を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科医は週3回、眼科医は月1回、歯科医は週1回の往診診療を受けている。 他科受診時は家族と職員が付き添うようにしている。	協力医の往診は週3回で他に月1回眼科医、週1回の訪問歯科を受けている。専門医受診の際は紹介状を出して貰い、基本的に家族の付き添いだが、職員も対応し情報を共有して協力医に報告している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の様子を看護師に報告し、体調変化時には連絡を取り、指示を仰いでいる。 情報交換シートを作り、協力医との連携に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	本年は入院者はいないが、出来るだけ面会に行き、看護師から状況を聞くよう努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に意向確認書を頂くが、状態変化に応じて家族、関係者に再度確認するようにする。 協力医、看護師、職員も含め、方針を共有するよう努めている。	入居時にホームで出来る事出来ない事を説明し、同意書が得られている。利用者の状態変化に応じ意向の確認を行い、家族、医師、職員で方針を共有し支援に努めている。職員は、法人や市の重度化や終末期についての研修に参加している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時マニュアルを作成している。 消防団の協力のもと、研修を行う等し実践力を身に付けられるよう努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防団長に協力頂き、消防避難訓練を年4回実施している。 又、地域の避難訓練にも参加している。	避難訓練は年4回昼夜想定で消防団長立ち合いの下実施され、避難経路の確認等指導を受けている。また、地域の避難訓練に参加し消火訓練や協力体制を築いている。備蓄品として水、食料、紙類、コンロ等保管されている。	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々、状況に合わせた言葉掛けや対応をし、プライバシーを損なわないよう努めている。	人生の先輩として敬い、言葉遣いには気を付け親しみをこめ、馴れ合いにならず、利用者一人ひとりにあわせている。トイレ誘導、失禁等さり気なく小さい声で配慮ある対応に心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その都度、意思確認を行い、無理強いせず、本人の意向に合わせた対応を努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務が優先されてしまう時もあるが、出来る限り、個々のペースに合わせられるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご自分で服を選んだり、化粧や香水をつけられる方もいる。 イベント時にはボランティアでメイクをしてもらった。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	もやしの髭とり等、個々で出来る事を手伝ってもらっている。 食器等も工夫し、出来る限りご自分で食べられるよう支援している。	食材は配食でメニューも決まっているが、利用者に合わせ変更される場合もある。食器の重いのを軽くしたり、白いご飯はお椀に入れる等の工夫や、利用者に合わせ刻み食やミキサー食も対応されている。日曜の手作りおやつは楽しみとなっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は毎日記録しており、排便、排尿状況に応じて食事の変更や水分チェックを行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。 必要な方は毎週歯科往診にて口腔ケアを実施している。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、出来る限りトイレでの排泄ができるよう支援している。	排泄チェック表を付け利用者の排泄パターンを把握し、適時に声掛けてトイレ誘導を行い自立に向け支援している。夜間はポータブルトイレや声掛け誘導したり、睡眠の妨げにならないように工夫してパット交換がされている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便状況を把握し、牛乳の提供や、服薬支援を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	基本は隔日入浴だが、拒否のある際は無理強いせず、臨機応変に対応している。	日曜以外週に2、3回入浴している。利用者の好みの温度で入浴剤を入れ寛いで貰っている。拒否の人は無理強いせずに工夫したり、清拭や足浴等で対応している。寒い日はエアコンと床暖が設置されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の意向や前夜の入眠時間を踏まえ、休息できる様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書を職員がすぐに関覧できる様にしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	地域サロンの参加や、誕生日の夕食等、個々に合わせた気分転換を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望に沿って、近所の神社や喫茶店に出来る限り外出できるように支援し、秋の外出では全員で「なばなの里」に出掛ける事ができた。	気候の良い日は神社を含む散歩や近くの喫茶店に出掛けたり、ホーム行事として「なばなの里」や花見、地域のお祭りに出掛ける等外出支援を行っている。家族と外食や買い物に出掛ける人もいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一定額を事務所で管理している。 買い物の際はそれを持ち出かけるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望時は電話を掛けられるようにしている。 手紙のやり取りもできるよう支援しており、写真と一緒に送ったりもしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先やベランダには入居者様と一緒に季節の花を植える等し、季節感を図っている。 ベランダには椅子を置き、機構の良い日には日向ぼっこをしている。	リビングは日当たりが良く明るい。玄関先やベランダには季節の花を植え、利用者が水やりしている。状態に応じて気の合った利用者同士ゆっくりと寛げるようにテーブル配置がされている。また、ソファや布団が敷いてあり、ゆったり過ごせる場所が確保されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い入居者様は隣の席にするよう工夫し、会話を楽しめるようにしている。 一人で過ごしたい時は居室を利用している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたタンスや仏壇を置いたり、ご家族からもらった葉書や写真を飾る等居心地のよい空間を作るよう努めている。	居室は綺麗に掃除され馴染みの筆筒、鏡台、椅子等が持ち込まれたり、家族の写真やぬり絵が飾られたり、仏壇が置かれるなどそれぞれ寛げる空間作りがされている。転倒防止策で床にマットや布団、センサーを取り付けて対応している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所を分りやすく示したり、居室にはネームプレートを付けている。 コルクボードを使用し、本日の入浴者が分かるようにしている。		